

災害に強いまちへ ふたみ伸吾の

提案

大地震に備えて **防災井戸** を整備する

断水期間

1995年	阪神淡路大震災	約3か月
2004年	新潟県中越地震	約1か月
2011年	東日本大震災	約5か月
2016年	熊本地震	約3か月半
2018年	北海道胆振東部地震	約1か月
2024年	能登半島地震	3か月以上

8月8日、宮崎県沖で震度6弱の地震が起き、「南海トラフ地震臨時情報」が出されました。前回の南海トラフ大地震が起きてから80年近く経ち、次の大地震が近づいていると言われています。

大地震が起きると困るのが水です。

断水時にご家庭や事業所の井戸水を、近所の方々に生活用水として提供する「防災井戸」（「災害時協力井戸」）の活用が注目されています。

井戸の設置や維持管理に対して助成する自治体が広がっています。

府中町も防災井戸に助成を



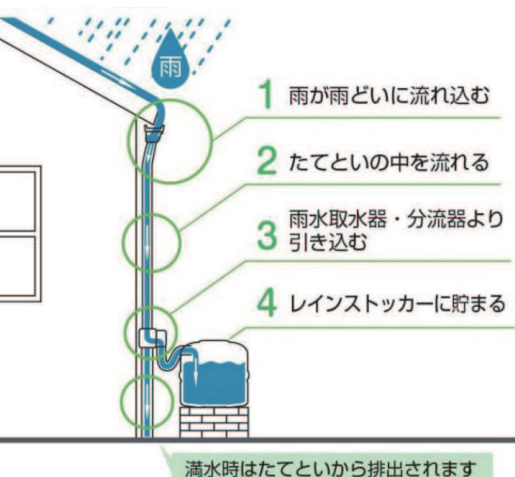
助成している自治体の例

- ▼呉市
井戸、井戸ポンプの修繕、手動式ポンプの設置などに対して経費の2分の1以内（上限50,000円）を補助。
- ▼東京都武蔵野市
災害対策用井戸の維持管理のために1件あたり年間9,000円を補助。

雨水の有効活用で **水害を防ぐ** 全国で304自治体(17%) タンクや浸透ますに助成している自治体

1 タンクに溜める

雨水タンクの設置

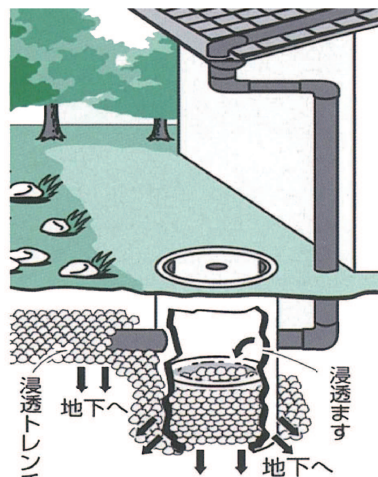


雨水を屋根から雨樋を通して集め、浄化したあと、タンクなどに溜め、散水・洗車・トイレの洗浄に再利用。

タンクに溜められた分だけ、下水道施設や川への流入が減り、水害防止が期待できます。

2 地下にしみ込ませる

浸透ますの設置



浸透枡で雨水を積極的に浸透させると下水道施設へ流れ込む雨水が減り、激しい雨の場合、1割程度の効果があると言われています。

また、地盤沈下を抑えたり、井戸水・湧き水を豊かにしたり、といった効果もあります。

日本共産党

ふたみ伸吾

前 府中町議会議員（2期）

1963年8月6日生まれ(61歳)

法政大学経済学部 卒業

広島大学大学院 社会科学研究科 修士課程修了

2016年9月 府中町議選 641票を得て初当選

2020年9月 885票を得て再選

2024年5月 府中町選に無所属で立候補し、
2120票を得るも落選

▼前回(2020年)町議選で掲げた

5つの公約のうち3つが実現

保育園をさらにつくる

➡ 2024年4月 府中なかよし保育園が開園

交通不便地域への手立てを

➡ 清水ヶ丘・桜ヶ丘に予約制の乗合タクシーが運行

子どもの医療費助成の充実

➡ 通院も中3まで助成 2024年1月から実施

➡ 所得制限の廃止 2025年4月から実施する予定

▼2024年町議選

ふたみ伸吾 5つの提案

1. 災害に強いまち
2. 教育と子育てを応援するまち
3. 福祉とくらしを大切にするまち
4. 環境にやさしいまち
5. 文化活動とスポーツを応援し、
歴史に学ぶまち

詳しくはホームページ



2期目(2020年～2024年)

一般質問で取り上げたテーマ

▼教育・子育て

府中町の特別支援教育の現状と課題について

学校給食の充実のために

持続可能な歴史民俗資料館のあり方

▼町づくり

公共施設の老朽化にどう対処するのか

安心して住み続けられる町に

消防の広域化と府中町民の安全安心

交通不便地域をなくすために

府中町第2次環境基本計画(改定版)について

▼社会保障

介護保険と老いの住まい

マイナンバーと医療DXについて

▼府中町役場のあり方

生き生きと働くことのできる府中町役場のために

役場施設内「親水施設」について

役場庁舎の建替えについて

▼行政のデジタル化

デジタル化は府中町を良くするのか

ふたみ伸吾事務所

浜田2丁目3番27号

電話 080-4409-6029



Email : shingo23futami@outlook.jp

ホームページ futamishingo.com